

上級ミクロ経済学 シラバス (改訂版)

財務省 財政経済理論研修

2020 年度

基本情報

- 教員: 石原章史 (いしはらあきふみ)
 - 東京大学社会科学研究所 准教授
 - Email: akishihara@iss.u-tokyo.ac.jp
 - website: akishihara.github.io
- 講義 website: akishihara.github.io/teaching/2020MoFMicro
(以前に配布したシラバスの URL とは異なります。)

講義概要・講義目的

経済学部の上級ないし大学院初級レベルのミクロ経済学の主要トピックを概観する。学部から大学院（博士、Ph.D）への橋渡しを目的としており、将来 Ph.D 留学を検討している人に適したレベルを狙いとする。具体的な講義内容としては、前半で市場理論、後半でゲーム理論についてカバーする予定。

ミクロ経済学は効率的な配分や意思決定を分析する上で根幹となるツールであり、マクロ経済・財政・金融・産業・貿易など様々な経済問題を分析する場合にも、ミクロ経済学が土台として使われており、現代の経済学において欠かすことの出来ない分析ツールとなっている。

講義計画・講義内容

扱うトピックは以下の通り。

1. 最適化問題
2. 消費者理論
3. 一般均衡理論
4. 不確実性とリスク態度

5. 標準形ゲーム
6. 不完全競争
7. 外部性と公共財
8. 動学ゲーム
9. 情報の経済学

新型コロナウイルスの影響のため原則的に以下のような方針で進める予定。

1. レジюмеによる自習

- 講義ノートを配布するので、(教科書も使いながら) 各自で目を通す。
 - － 自分でも一度ペンを使って書いてみる・描いてみることを。

2. 演習

- 各週ごとに演習問題を課すので、締切までに pdf で提出すること。
 - － 手で書いたもののスキャン、ワープロソフトによる作成、どちらでも良い。
 - － 提出課題や締切は講義 website にアナウンスする (不明な場合は e-mail で質問すること)。
 - － 全部の提出は課さない (目安は各トピック 1 問) が、提出を課さないものにも取り組むことを勧める。

3. (オンラインの) オフィスアワー

- e-mail での質問他、通話ツール (Skype ないしは Zoom) での質問も受け付ける。
 - － 原則的には本来講義を行っていた時間に対応する他、他の時間も可能なら対応する。ただし、通話ツールは普段オフにしていることが多いので、事前に時間を指定することを勧める。(オフィスアワー自体の質問自体は多少雑談めいたものでも構わない。)

(事情が事情なので対応できる変更はしていきます。)

履修要件

学部レベルのミクロ経済学および基本的な数学の知識 (微積分・線形代数・確率) は前提であることが望ましい。特に数学の知識は前提として講義を進めるため、不安な場合は学部レベルの教科書で教科書でしっかり復習しておくことを推奨する。

成績評価の方法・基準

未定。決まり次第、速やかにアナウンスする。

教科書・参考書

講義ノートを配布するが、主に以下の教科書に基づく。

- Jehle and Reny (2011), *Advanced Microeconomic Theory*, 3rd edition.
- Varian (1992), *Microeconomic Analysis*, 3rd edition.
- Tadelis (2012), *Game Theory: An Introduction*.

Jehle and Reny および Varian はバランスの取れたミクロ経済学の教科書である。購入は任意とするが、1冊手元にあると有用である。Tadelis は主に後半部で扱うゲーム理論と情報の経済学の教科書になっている。

参考書は以下の通り。

- 学部中上級レベルのミクロ経済学の参考書
 - 神取道宏 (2014) 『ミクロ経済学の力』
 - 林貴志 (2013) 『ミクロ経済学 増補版』
 - Snyder and Nicholson (2011), *Microeconomic Theory: Basic Principles and Extensions*.
- 大学院博士レベルのミクロ経済学
 - Kreps (1990), *A Course in Microeconomic Theory*.
 - Mas-Colell, Whinston and Green (1995), *Microeconomic Theory*.
 - Kreps (2012), *Microeconomic Foundations I: Choice and Competitive Markets*.
- 経済数学 (難易度の低い順)
 - 尾山大輔・安田洋祐編 (2013) 『経済学で出る数学』
 - Simon and Blume (1994), *Mathematics for Economists*.
 - Sundaram (1996), *A First Course in Optimization Theory*.
 - 岡田章 (2001) 『経済学・経営学のための数学』

最終更新: 2020 年 4 月 5 日